

1 学校概要

1 校 名 山形県立上山高等養護学校

2 所 在 地 山形県上市市宮脇600番地

校地総面積 24,024m²

○校舎 管理棟、学習棟、作業棟、体育館、寄宿舎（配膳室・調理）、ボイラー室
12,643m²

○グラウンド 1,812m²

○実験実習他（野菜畑） 3,374m²

○その他 土手雑種地 6,195m²

3 学部（学級数・在籍数）

高等部・・・普通科 第1学年（3）〔24名〕

第2学年（3）〔25名〕

第3学年（3）〔25名〕

計（9）学級 在籍数〔74名〕

※定員 1学年24名（1学年あたり3学級）

4 学校の特徴

（1）学校の教育目標「社会的・職業的に自立できる人を育てる」を基本として、生徒一人一人の全人的な発達と健全な生徒集団の育成をめざした教育活動に取り組んでいる。また、生徒及び教職員が共有して目指す学校スローガン「働く人になる」を継続して掲げており、その実現に向けながら生徒たちは夢や希望をもって学校生活を送っている。

（2）知的発達の遅れがあり、就労を目指す教育課程を履修できる者が学ぶ高等部のみを設置する特別支援学校である。

（3）教育課程は「各教科（国語、数学、音楽、美術、保健体育、職業、家庭科）」を「中心に「各教科を合わせた指導（生活単元学習）」「特別の教科 道徳」「総合的な探究の時間」「特別活動」「自立活動」で編成し、職業科の学習に特に力を入れている。

主体的・対話的で深い学びを通し、育成すべき資質・能力（知識・技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力）などを育てている。

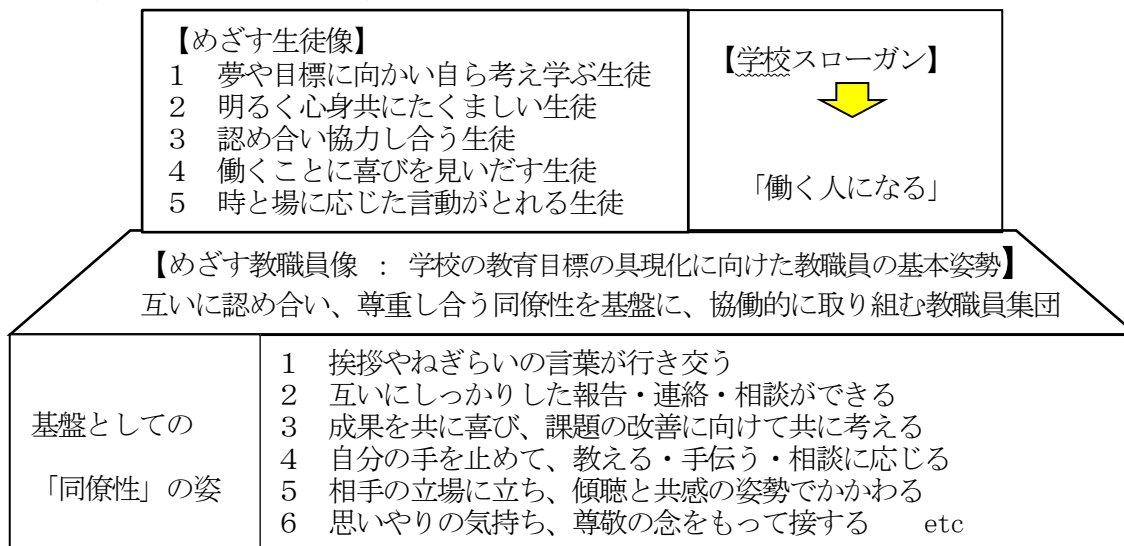
（4）職業科は、職業科に係る見方・考え方を働かせ、職業など卒業後の進路に関する実践的、体験的な学習を通して、勤労の意義の理解、職業に関わる知識や技能を身に付けるなど、よりよい生活の実現に向けて工夫する資質、能力の育成を目指している。中でも、6月、10月に各10日間、事業所や職場での現場実習を行い、実際に働くことで厳しさや充実感、職場での人間関係について理解を深めている。

（5）学習内容によって生徒は、学級単位、学年合同、学年別グループ、二学年合同で教員も1名、TTによる指導と様々な学習スタイルで授業を行っている。生徒会活動も活発で、先輩後輩の結びつきも強い。

2 学校の教育目標と経営の重点

1 学校の教育目標 「社会的・職業的に自立できる人を育てる」

- 生徒一人一人の全人的な発達と健全な生徒集団の育成をめざした教育活動を行う。
- 生徒・保護者の願いや生徒の実態に即した就労支援と職場定着支援を行う。



2 経営の基本方針

以下の四つの「めざす学校像」を柱に、学校経営に取り組みます。

| | |
|-----------------|---|
| 【めざす学校像】 | 生徒にとって 「成長を実感できる」学校 保護者にとって 「安心して任せられる」学校 地域や関係機関にとって 「信頼できる開かれた」学校 教職員にとって 「働きやすく働きがいのある」学校 |
|-----------------|---|

3 経営の重点

(1) 生徒にとって「成長を実感できる学校」にするために

- ① 自立する力につながる調和のとれた教育課程を編成・実施します。
- ② 働く力を高める計画的なキャリア教育を行います。
- ③ 主体的・対話的で深い学びの視点を踏まえた授業改善を推進します。
- ④ 「傾聴と共感」による教育相談を基盤に生徒指導の充実を図り、自己肯定感を育みます。
- ⑤ 社会生活に対応できる力(コミュニケーション、対人関係、課題解決などの力)の育成を図ります。

(2) 保護者にとって「安心して任せられる学校」にするために

- ① 保護者と常に情報共有し、連携を図りながら、基本的な生活習慣や社会生活スキル等の向上を図り、「働く人になる」ための力を高めていきます。
- ② 安全で健康的に生活できるように日々の教育や相談活動を充実させます。
- ③ 既存の教育環境を有効活用し、安全な施設・設備の保持に努めます。

(3) 地域や関係機関にとって「信頼できる開かれた学校」にするために

- ① 交流や奉仕活動、バザーなどで連携を深め、地域に信頼される学校づくりを推進します。
- ② 日頃から関係機関との顔の見える連携に努め、就労の実現と定着を図ります。
- ③ センターの機能を発揮し、地域の学校等を支援します。

(4) 教職員にとって「働きやすく働きがいのある学校」にするために

- ① 業務の精選や平準化、ノー会議デー等によるゆとり創造により、働き方改革をより推進します。
- ② 実践的研修やOJTを推進し、専門性の向上を図ります。
- ③ 同僚性を基盤に協働的な力を発揮する学校づくりを進め、意欲的に働けるようにします。

3 学校運営組織

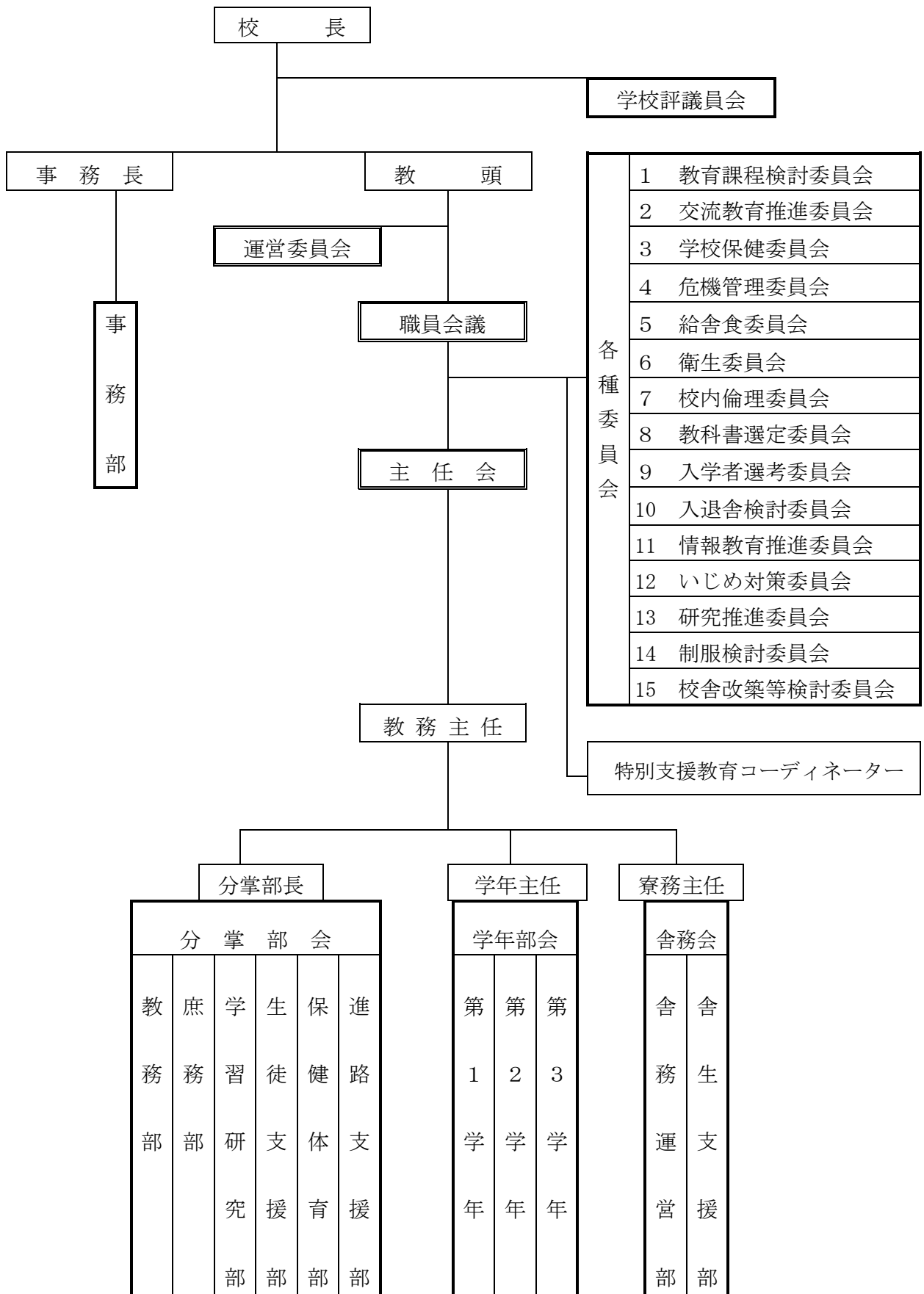
1 教職員等の数

()内は、会計年度職員

| 職名 | 校長 | 教頭 | 教諭 | 講師 | 実習教諭 | 実習講師 | 養護教諭 | 養護助教諭 | 主任寄宿舎指導員 及び寄宿舎指導員 | 事務長 | 主任主査 | 栄養主査 | 調理師 | 学校技能員 | その他の職員 | 合計 |
|----|----|----|----|----|------|------|------|-------|----------------------|-----|------|------|----------|----------|----------|------------|
| 男 | 1 | 1 | 11 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 3 | 1 | 0 | 0 | 2 (1) | 4 (1) | 2 (2) | 26 (4) |
| 女 | 0 | 0 | 16 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 9 (2) | 0 | 1 | 1 | 4 (4) | 0 | 1 (1) | 36 (7) |
| 計 | 1 | 1 | 27 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 12 (2) | 1 | 1 | 1 | 6 (5) | 4 (1) | 3 (3) | 62 (11) |

令和4年5月1日現在

2 校務分掌機構



4 日課表

| | | |
|--------------|---------------------|-----------------|
| 登 校 | ～ 8 : 3 0 | |
| | 月 水 金 | 火 木 |
| 全校朝会・朝清掃・朝読書 | 8 : 3 0～8 : 4 0 | 8 : 3 0～8 : 4 5 |
| ショートホームルーム | 8 : 4 0～ 8 : 5 0 | 8 : 4 5～8 : 5 0 |
| 1 時間目 | 8 : 5 0～ 9 : 4 0 | |
| 2 時間目 | 9 : 4 5～1 0 : 3 5 | |
| 3 時間目 | 1 0 : 4 5～1 1 : 3 5 | |
| 4 時間目 | 1 1 : 4 0～1 2 : 3 0 | |
| 給 食 | 1 2 : 3 5～1 3 : 1 0 | |
| 5 時間目 | 1 3 : 2 5～1 4 : 1 5 | |
| 6 時間目 | 1 4 : 2 0～1 5 : 1 0 | |
| ショートホームルーム | 1 5 : 1 5～1 5 : 2 5 | |

※月・水曜日サークル活動（1 5 : 1 5～1 6 : 0 0）

※金曜日 5 時間授業

5 主な年間計画

| | |
|-----|---|
| 4月 | 8 新任式 前期始業式 入学式 29 P T A総会 |
| 5月 | 8 三吉会総会・三吉会のつどい 10, 12 中高連絡会 13 1年 三吉山登山 16 3年 職業相談・求職登録 17 交通安全教室 19, 24 1年 職場見学 26 第1回生徒会総会 |
| 6月 | 2, 7 中3対象学校説明会 13~24 前期現場実習 |
| 7月 | 6 アビリンピックやまがた 13 上高養バザー（場所未定） |
| 8月 | 27 3年 障害者職業センター見学 |
| 9月 | 1~2 1年 宿泊研修 7~9 2年 修学旅行 13, 15 学校説明会（中2対象） 30 前期終業式 学年・学級保護者会 PTA研修会、就労支援セミナー |
| 10月 | 3 後期始業式 17~28 後期現場実習 |
| 11月 | 4, 9 企業向け学校見学会 11, 16 14 2年 ハローワーク見学 23 同窓会行事 |
| 12月 | 1 生徒会役員選挙 10 上高養バザー |
| 1月 | 12 進路四者面談 ～31日 13 3年 職業準備講習会 25 イオン山形南店バザー |
| 2月 | 2 第2回生徒会総会 17 入学者選考日 27 入学者選考合格発表 |
| 3月 | 3 3年生を送る会 15 卒業証書授与式 16 修了式 学年・学級保護者会 20 入学者説明会 |

6 寄宿舍経営計画

1 寄宿舍の目標

集団生活を通して、基本的な生活習慣や社会性を養い、「豊かな生活」の実現を目指す。

2 経営方針

- (1) 舎生の自主性を尊重し、社会自立に向けて積極的、継続的に努力する態度を育てる。
- (2) 家庭的な雰囲気作りに努め、安らぎのある寄宿舍経営を目指す。
- (3) 健康で安全な生活ができる環境整備、充実した生活指導に努める。
- (4) 家庭や学校との連携を密にし、個に応じたきめ細かい指導を行う。

3 重点

- (1) 自治会活動や部屋活動を通して、自分で気付き考え行動する生活態度を育成する。
- (2) 自分の思いを言葉にし行動すると共に、お互いを尊重し協力して生活する態度を育成することで、安らぎのある寄宿舍生活の実現を図る。
- (3) 創意工夫による生活指導の充実に努め、基本的な生活習慣の確立や余暇を楽しむ力の育成を図る。
- (4) 個々の舎生の実態把握により課題に応じた指導計画を作成し、家庭や学級担任と連携を取り、充実・一貫性のある指導を行う。
- (5) 寄宿舍職員が、主体的に働くために個々の役割を明確にする。また、実践的な研修などで専門性の向上を図り、同僚性、協働性を発揮する職場づくりを進める。

4 舎生在籍表

| 学年 | 男子 | 女子 | 合計 |
|----|----|----|-----|
| 1 | 2名 | 1名 | 3名 |
| 2 | 4名 | 2名 | 6名 |
| 3 | 2名 | 4名 | 6名 |
| 合計 | 8名 | 7名 | 15名 |

(令和4年4月現在)

5 日課表

| 時間 | 日 課 |
|---------------|----------------|
| 6:30 ～ 7:00 | 起床・洗面・検温・部屋掃除 |
| 7:00 ～ 7:20 | 分担掃除・配膳 |
| 7:20 ～ 7:40 | 朝 食 |
| 7:40 ～ 8:10 | 登校準備 |
| 8:10 | 登 校（棟ごと登校） |
| | |
| 17:35 ～ 18:00 | 分担掃除・配膳 |
| 18:00 ～ 18:20 | 夕食 |
| 18:40 ～ 19:50 | 入浴 |
| 20:30 ～ | ミーティング（帰省日の前日） |
| 22:00 | 消 灯 |

○余暇活動

| 曜 日 | 内 容 |
|-----|-----------------|
| 火曜日 | カラオケ、外活動 |
| 木曜日 | |
| 水曜日 | ロビー「さくら」 ※25回／年 |